

日仏教育学会 2025年度研究大会

日 時：2025年 11月16日（日）

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

11月15日（土） 18：00～19：00 理 事 会 於：貸会議室ベーコンラボ（京都駅近く）

11月16日（日） 於 立命館大学衣笠キャンパス

- 9：00 ～ 9：30 受 付 清心館地下一階 008 入口
- 9：30 ～ 12：10 個 人 研 究 発 表 清心館地下一階 008
- 12：10 ～ 13：00 昼食休憩
- 13：00 ～ 16：50 シンポジウム 清心館地下一階 009
初等・中等教育におけるコンピテンシー・ベースの教育の功罪
ピエール・クレマン（ルーアン大学准教授）
天笠茂（千葉大学名誉教授）
- 17：00 ～ 17：30 2025年度総会 清心館地下一階 009
- 17：45 ～ 19：45 情 報 交 換 会 諒友館地下一階食堂

大会開催委員長 細尾 萌子（立命館大学）

TEL：075-465-8187（文学部事務局） E-mail：hosoo@fc.ritsumeai.ac.jp

日仏教育学会事務局：〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学人間系 京免徹雄研究室内

TEL：029-853-4590 E-mail：nichifutsukyoiku@gmail.com

11月16日(日) 9:00～受付開始

清心館地下一階 008 入口

9:30～12:10 個人研究発表 清心館地下一階 008

発表時間 各 20 分 質疑応答 各 5 分

司 会：杉山大幹（鹿児島大学） 前田更子（明治大学）

1. 9:30～9:55 大川 洋（国際基督教大学）

エラスムスの教育思想における「自然」概念

ー教育思想史上の位置づけに着目してー

2. 9:55～10:20 岡山 茂（早稲田大学）

「帝國的社會」における大学の自治と都市の詩学

ーマラルメの『ディヴァガシオン』をめぐってー

3. 10:20～10:45 秋永沙穂（九州大学大学院）

1890 年代ボルドーにおける女子リセの学校運営

4. 10:45～11:10 山内由賀（京都橘大学）

私立学校から公立学校へーパリ・ビロン館の売却をめぐってー

5. 11:10～11:35 大前敦巳（上越教育大学）

Formation des ingénieures en France depuis le début du 20e siècle

6. 11:35～12:00 大場 淳（広島大学）

La liberté académique en France et au Japon

12:00～12:10 総合質疑

12:10～13:00

昼食休憩

13:00～16:50 シンポジウム

清心館地下一階 009

通訳：野崎 夏生

司会：細尾 萌子（立命館大学）

【企画趣旨】

日本では 2017 年・2018 年の学習指導要領より、各教科の知識の伝達よりも、知識を活用して実践する資質・能力（コンピテンシー）の育成に重点が置かれるようになりました。フランスでも、義務教育段階のすべての生徒が身につけなければならない共通基礎が 2006 年に定められたことをきっかけとして、コンピテンシーの育成・評価が初等・中等教育で重視されるようになってきています。それから一定期間がたった今、コンピテンシー・ベースの教育にはどのような利点と問題点が見られるのでしょうか。

この問題に迫るために、フランスからピエール・クレマン准教授（ルーアン大学）、日本

から天笠茂名誉教授（千葉大学）を招聘します。クレマン氏は、共通基礎の制定過程について博士論文を執筆され、フランスにおけるコンピテンシーの内実やコンピテンシーをめぐる議論に精通されています。天笠氏は、主にカリキュラム・マネジメントの側面から、コンピテンシー・ベースの指導や評価の研究をされてきました。「中央教育審議会・初等中等教育分科会・教育課程部会」などの政府の委員を歴任されており、政策の視点からもコンピテンシー・ベースの教育を検討されてきました。その上、学校現場とのつながりが強く、コンピテンシー・ベースの教育の実際についてもよくご存じです。そして、コンピテンシー・ベースの教育について詳しい京免徹雄会員（筑波大学）に指定討論として議論をまとめていただきます。

今回のシンポジウムでは、共通の論点として、次の四つを設けています。①OECDなどの国際機関のコンピテンシーが学校教育にどのように受容されたのか。②小学校・中学校・高校普通科という学校段階によって、コンピテンシー・ベースの教育の実施状況は異なるのか。③教科によって、コンピテンシー・ベースの教育の実施状況は異なるのか、④コンピテンシー・ベースの教育は学校教育の制度・実践をどのように変えたのか。

日本ではまもなく（2027年度？）次の学習指導要領が出されます。参加者それぞれのお立場からコンピテンシー・ベースの教育の功罪について考えていただき、各自のご研究や実践に活かしていただくために、ペア討論や全体討論と、議論の時間を十分にとる予定です。

＊本企画はJSPS 科研費 24K00380 の助成を受けて実施します。

パネリスト報告 13：10～15：00

1. 13：10～14：20 ピエール・クレマン（ルーアン大学）（うち通訳 30 分）

フランスの教育制度へのコンピテンシー・アプローチ（APC）の導入一起源、定義、実施—

Pierre Clément, « L'introduction de l'approche par compétences (APC) dans le système d'enseignement français. Origines, définitions et mise en œuvre »

2. 14：20～15：00 天笠 茂（千葉大学）

日本におけるコンピテンシー・ベースをめぐる教育課程政策

指定討論者リアクション 15：00～15：55

3. 15：00～15：25 京免 徹雄（筑波大学）（うち通訳 10 分）

4. ペア討論：印象に残ったこと、研究や実践に活かせること、質問 15：55～16：10

5. 総合討議 16：10～16：50

17：00 ～ 17：30 2025 年度 総 会

清心館地下一階 009

17：45～19：45 情 報 交 換 会

諒友館地下一階食堂

∞ 大会参加要領 ∞

研究大会に参加いただくためには、事前登録が必要です。参加ご希望の方は、以下の QR コードもしくはリンクから事前登録をお願い致します。日仏教育学会ホームページの「大会情報」、会員用の学会メーリングリストでもご案内をしますので、そちらから事前登録をすることもできます。

日仏教育学会の会員でない方も 11 月 16 日(日)のシンポジウムに参加することができます。

事前登録: <https://forms.gle/Bo1hySMEeyw6AFpx5>



事前登録

- ☐ 大会参加費 : 会員 3,000 円 (但し、学生の会員は 2,000 円とします)
シンポジウムにおける会員外の参加費を無料とします。
- ☐ 情報交換会費 : 6,000 円 (但し、学生の会員は 3000 円)
- ☐ 昼食 : 各自ご持参ください。当日大学の学食や購買は休みで、衣笠校前もしくは大学正門横のコンビニしか買うところはありません。付近の飲食店は少ないです。
- ☐ 準備の都合上、11 月 2 日(日)までに大会参加の事前登録の際にお申し込みください。大会参加費や情報交換会費は、当日、受付にてお支払いください。なお、情報交換会に参加と書かれた方は当日欠席でも情報交換会費を原則徴収させていただきます。

場所 11 月 16 日(日) 立命館大学衣笠キャンパス清心館

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町 5 6 - 1

<https://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/>

- J R 嵯峨野線 円町駅 京都市バス西ノ京円町へ
市バス 204 か 205 衣笠校前 徒歩 10 分
市バス 15 か 53 か快速立命館 立命館大学前 徒歩
2 分

会場地図 衣笠キャンパスの地図です。

